

建築士

HIROSHIMA

茅葺き是最先端の素材 (3/4) ～海外の茅葺き～

株式会社 Earth Building 沖元 太一



「海外にも茅葺きがあって、オランダは年間2000棟以上も新築が建てられてるんですよ。」とお話すると、海外にも茅葺きがあるんだ！と皆さんとても驚かれます。世界には素材や形が様々な茅葺きがありますが、基本的な茅葺きの構造の根本的な考え方は、変わりません。それもまた面白く、何千年前か分かりませんが、あちこちで身近にあった草で屋根を葺き、技術も洗練された結果が、世界中でそれほど変わらないのです。

世界中にある茅葺きですが、特にオランダやデンマーク、南アフリカではたくさんの新築茅葺きがつくられています。現代建築に使われていて、ガラスや鉄、様々な建築素材の一つとして茅葺きがあると言った印象を受けます。中でもオランダは現代茅葺きの先進国で、「クローズド工法」と言う新しい工法を生み出し、壁を葺く技術は風車の屋根の技術を応用しています。110年前に活躍していたアムステルダム派の建築家は、茅葺きの住宅も設計していて、今でも惹かれる建築があります。また自分が茅葺きの世界に入ったころ、斬新な大きな茅葺きの写真を見た時に、とても衝撃を受けました。もちろん屋根として雨仕舞など考えないといけないのですが、それでもこれだけ自由な形が葺けると。そしてガラス張りの建物の壁から屋根へ連続して葺かれていたり、アールに葺かれていたり、日本では見たことも考えられたことも無いものばかりでした。5年前にオランダへ行き、初めて現代的な茅葺きを見ました。それまでは写真でしか見たことが無く、とても楽しみに行きましたが、あちらこちらにあり、住宅団地は茅葺き屋根だらけ、お腹一杯になってしまった思い出があります。

なぜ茅葺きが選ばれるのかと言うと、自然素材であること、景観に良い、などが理由だそうです。決して安い訳ではなく、車で言うところのベンツやレクサスに乗ると言うように、一つのステータスとなっているようです。材料は短いヨシが使われていて、自国でも採取していますが、大半は中国や東欧から輸入して賄っています。それだけ需要があるということなのですが、古くなり屋根から下された茅は、日本のように土に還すと言う考え方は無く、ほとんどが廃棄処分となります。しかし、日本の循環型の考え方は、ヨーロッパの人たちの考え方にも影響を与えています。

私たち日本では、茅葺きの道具のほとんどは売っていないので自分で作ったり鍛冶屋さんをお願いしますが、海外には工業製品化した道具やそれを扱うお店もあり、買うことが出来ます。それだけ職人がいるということなのです。茅の運搬から荷揚げ、そして道具に至るまで、とても産業化されています。日本では荷揚げは人力、道具は自作ですが、いつか茅葺きの需要が増えることを夢見ながら今日も屋根を葺いています。

★次回のテーマは、「未来へ繋がる日本の茅葺きを目指して」



新築の茅葺き住宅



新築の茅葺き住宅



市役所と消防署



茅葺きの住宅団地



アムステルダム派の茅葺き住宅



茅葺きのパビリオン

建築士 HIROSHIMA No.187 令和5年1月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL(082)244-6830(代) FAX(082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 井本 健一
編集人 広報委員長 梶川 彰彦

表紙写真について

江波の家

- 設計・監理／株式会社小松隼人建築設計事務所
- 施 工／有限会社ホームテック
- 所 在 地／広島県広島市
- 用 途／専用住宅
- 構 造 規 模／木造2階建
- 敷 地 面 積／196.12m
- 延 床 面 積／114.26m
- 竣 工 日／2019年11月

建築と環境を繋ぐ「接庭」

広島市内に建つ設計者の自邸。敷地は目の前の江波山を貫通するトンネルとその擁壁によってほとんどが日影で覆われており、そのため周辺地域の中ではどこか扱いづらく、取り残された場所のように見えたが、市街地とは思えない緑豊かな環境の広がりにはそれ以上の魅力に感じられた。

この環境と建築を繋ぎたい。そのためには建物内から見える遠景を取り込むだけでなく、自らつくりだした近景を重ねることで、建築、周辺環境、庭が一体的に繋がる関係を生み出せないかと考えた。まず地表面を生活の主体として考えてみると、目の前に擁壁があるため建築と緑の連続性は生まれそうにない。擁壁の高さを計測したところ、緑豊かな景色は地面からおよそ4mから一望できることがわかった。2階を生活の主体とし、内外の境界に植栽で満たされた半屋外の場をつくり、そこを「接庭(つぎにわ)」と定義した。接庭は、地面からの高さを4m程度とすることで遠景の江波山と水平に重なり、内部からは奥行きのある風景が生み出された。また、接庭の植栽に日光が行き渡るように、南と東方向に床を伸ばすことで雁行した形状となり、結果として日射しや隣地からの視線を緩やかに調整することに繋がった。さらに建築と植栽が絡み合った外観となることで、建築と南側の遠景が重なり合い、街並みに新たな緑の風景をつくりだすことができたのではと考えている。

CONTENTS

表紙写真について	2
会長 新年ごあいさつ	3
委員会活動紹介	4
CPD 認定プログラム	6
広島市街づくりデザイン賞表彰式報告	7
呉地区支部・福山支部合同見学会報告	8

賛助会員紹介	10
女性委員会イベント報告	12
福山支部イベント報告	12
広島支部現場見学会報告	13
茅葺は最先端の素材③	14



2階LDK



2階リビングから東側の接庭方向を見る



南東に広がる2階の接庭

年頭所感



年頭にあたり会員の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。日頃より（公社）広島県建築士会の活動に対しご参加、ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。本年もより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広島県建築士会では、会員への情報提供や研修、交流などの行事による会員サービス及び会員活動はもとより、建築士資格に関する試験実施、資格登録、並びに建築士の職能についての情報開示を行い、県内各地域においては建築やまちづくりに関する専門領域からの情報発信などの公益事業を中心に活動しております。

こうした中、令和2年から続く新型コロナウイルスによる感染は、令和4年末には遂に第8波に至り、世界的に見ても、完全な鎮静化はしばらく先のこととなりそうな気配です。しかし、経済活動や人の動きは徐々に元の姿を取り戻しつつあり、ウィズコロナの新しい世界が見え始めてきております。コロナ禍の3年間で、リモートワーク等の便利さを見つけた反面、リアルなコミュニケーションの大切さを痛感させられました。又、令和4年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻は、これまでのグローバル自由経済社会を根こそぎ一変させ、食料、エネルギー等の流通に深刻な影響を及ぼし、日本においても、あらゆる分野での資材の高騰を招いています。こうした凄まじい社会環境の変化の中で、私たち建築士は新しい時代に求められる技術力の向上と人材育成を通じ、未来に向けて社会的役割を果たしていかなければならないと考えます。

一方、日本建築士会連合会においては、昨年秋田において3年ぶりの全国大会が現地開催され、会員相互のふれあいを久々に実感することができました。連合会では本年度5つの重点施策を打ち出しています。省エネ、脱炭素への対応／災害対策／健康住宅／エリアリノベーション／会員増強です。その中でも特に脱炭素への対応に関して

（公社）広島県建築士会 会長
井本 健一

は、建築分野における脱炭素化の積極推進のための技術者養成に重点をおいて推進してゆく計画です。従来進めてきた人材育成の為の諸事業と共に、国の施策とも連動しながら、これからのまちづくりの中で必要な役割を果たしてまいります。

さて、広島県建築士会は昭和27年に広島県知事より認可を受け誕生いたしました。以来令和4年をもって70年を迎えることになりました。昭和25年に公布された建築基準法による、まちづくりを担う技術者として、同年交付された建築士法に基づき建築士が誕生いたしました。その後、新しい法律の周知徹底、啓発を図るため、各県行政単位にて建築士会が発足したわけですが、これまで長きにわたり当会を育ててこられた先人のご苦勞、ご功績に対し深く敬意を表するとともに、感謝の気持ちで一杯です。本来であれば、令和4年度内に70周年記念事業を開催すべきところでしたが、令和3年にずれこんだ全国大会広島大会を踏まえ、令和5年度に改めて、記念事業を実施する予定です。現在、実行委員会を中心に準備を進めているところですが、会員の皆さまのご協力とご参加を得て、意義ある記念事業となることを願っております。

今年度もコロナの鎮静化とともに、会員にとって魅力ある会となるための諸事業に積極的に取り組み、会員相互の絆をより一層深めることができるよう、努力してまいりたいと思います。

会員の皆様にはなにとぞご指導ご協力賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶といたします。



(公社) 広島県建築士会の8つの委員会の活動報告です。令和5年の創立70周年

企画総務委員会……………委員長 宮地 正人

今年6月から新しい委員を迎え活動を開始しました。今年度は、例年の議事に加え会員増強や災害復興支援への取り組みなどの議論を深めています。

委員は地域バランス考慮や女性割合の引き上げとともに若干の若返り？も図っています。委員会メンバーは、佐名田敬荘（広島）、加藤史隆（広島）、高田由美（広島）、倉田まゆみ（県北）、幸隆伸（福山）の皆さんに加え井本会長（呉）にも参加いただいています。

会員皆さんの様々な意見を吸い上げながら、建築士としての知識・技能の向上や社会貢献活動の活性化などに繋がるよう積極的に課題解決を図っていきたいと思います。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

余談ですが、連合会は「総務企画委員会」ですが、我が士会は、「企画総務委員会」なのは何故でしょう?? 理由をご存じの方はご一報いただければ幸いです。

創立70周年記念事業実行委員会……………委員長 宮地 正人

広島県建築士会は、令和4年度（2022年度）に創立70周年を迎えました。本来ですと今年度に記念事業を執り行うべきですが、全国大会開催というビッグイベントと重なり準備着手が遅れたことから、式典・祝賀会は来年度の総会開催時に実施することとなりました。

式典には、来賓として近角連合会会長を招聘したところ快諾を頂きました。また、祝賀会のアトラクションは全国大会のリベンジの意味合いも込めMebius（メビウス）の清らかな歌声を楽しんでいただくことにしています。開催日は令和5年6月17日（土）の午後を予定していますので、皆さんのスケジュールにしっかり入れておいてください。

交流厚生委員会……………委員長 井手口 耕三

交流厚生委員会では、会員の親睦交流事業において活気あふれる活動を毎年行ってきましたが、新型コロナウイルスの影響で秋の交流会を中止とさせていただきました。第47回ボウリング大会においては尾道支部が幹事で2月11日に開催する予定です。近年、交流厚生活動が何もできませんでしたが、次年度は支部対抗ゴルフ大会の開催検討を行っています。

詳しい行事の内容については、マンスリーを通じて報告を行っていきますので多数の方のご参加をお待ちしております。

事業委員会……………委員長 浦山 豊隆

事業委員会では主に、広島県建築士会主催で行う年1回の事業として、「公開まちづくりセミナー」と題した講演会の開催につ



いて、企画し、運営を行っております。これまで、広島に関連した話題とともに、建築家などの専門家を講師

にお迎えし、ご講演をお願いしております。

今年度の活動として、9月4日に尾道市主管、広島県建築士会主催で、伊東豊雄氏を基調講演の講師にお迎えし、尾道市の公共施設に携わられた9名の建築家による「建築シンポジウムin尾道」を開催しました。シンポジウムの開催に備えるため、事業委員会有志で8月15日、尾道市の新しい公共施設を巡る事前見学会を行いました。

（シンポジウムの詳細はマンスリー11月号をご参照ください。）今年度の「公開まちづくりセミナー」につきましては、「(公社) 広島県建築士会70周年記念講演会」と冠することが決定しており、年度内の2～3月頃に開催するよう、企画、準備を進めています。ぜひ、ご参加いただきますようお願いいたします。

住宅委員会……………委員長 佐々岡 由訓

住宅委員会では、毎年、住宅講演会を開催しています。今年は、講師に宇野友明氏を招いて、2月18日（土）に広島工業大学広島校舎にて開催します。全国で活躍されている建築家の方から、住まいづくりにおける思想や理念、経験談など、直に聞ける貴重な機会です。住まいづくりに携わっておられる参加者の皆さんにとって、日々の仕事に役立ち、良い刺激となるような内容にしたと思っていますので、ぜひ講演会へお越しください。

委員会のメンバーは広島県の各支部から集まった13人で活動しています。コロナ禍でなかなか活動ができなかったですが、これからは住宅見学会などの活動も増やしていき、委員同士の交流も深めていけたらと思っています。委員の皆さんも仕事をしながらの活動ですので、無理のない範囲で参加していただいています。講演会当日だけの参加も可能で、講演会後に開催する講師と委員の懇親会は、委員にとって最大の楽しみとなっています。委員会に興味のある方はお声がけください。

まちづくり委員会……………委員長 家頭 昌子

まちづくり委員会は、これまでの防災・歴史・景観・福祉・街中（空き家）・地域貢献活動センターの6つの部会に、あらたに木のまちづくりを加えた6つの部会で活動を行う事になりました。建築士のまちづくりへのかかわり方は多岐にわたり、建築士が主導となって活動する場合もあれば裏方として地域のまちづくりの下支えとして活動する場合もあります。

ここ数年のコロナウィルス蔓延のため、なかなか積極的に動くことが出来ない状況が続いていますが、連合まちづくり委員会の各部会と連携を取りながら担当毎に活動を重ねています。

また、地域貢献活動センター部会がこれまで継続して活動している、継続的な地域貢献活動を行うまちづくり団体に対する活動助成を引き続き継続して行っています。より身近になった市民まちづくりのなかで、建築士及び建築士会の専門性を発揮し、地域の中で日々まちづくり活動を行っている建築士をバックアップし地域との協働を進めていく事で、建築士会の社会的地位の向上に努めていきたくと思っています。

ヘリテージ委員会……………委員長 濱井 義樹

ヘリテージ委員会は、ヘリテージマネージャー（以下HM）養

記念事業や、令和6年中四国ブロック広島大会の準備も始まりました。

成講習の開催とHM協議会への支援を活動の中心としており、HMの登録者数は昨年度末の段階で221名となっています。

HM養成講習はコロナ禍の中でも規模を縮小して実施してきましたが、開始から10年目となる令和4年度は、文化庁の補助金の関係で、残念ながら1年間の休止としました。ただし登録後5年間を経過した方のための更新講習については、本年度も継続して実施します。

HM協議会については、3年連続で総会が実施できない状況ではありますが、県内各地域での会員活動は着実に進みつつあるものと考えています。

こうした各地域での活動につきましては、HM協議会において、少額ではありますが地域単位での事業費補助が可能ですので、ご要望があれば各地域代表を通じて事務局にご相談くださるようお願いします。

来年度は、第10回目となる養成講習の開催はもちろんのこと、HM協議会についても通常ペースでの活動ができるものと期待している次第です。

女性委員会……………委員長 倉田 まゆみ

女性委員会は、防災をテーマとした活動を継続しています。

様々なイベントを行い、勉強と交流会をしながら切磋琢磨中です。

- ①6/11.12 青年・女性建築士の集い中四国ブロック大会（高知）参加
- ②30周年記念誌を完成させ、全女性会員への配布
- ③7/3 漆喰かまどワークショップ開催（マルモ工房：女性左官職人、金澤萌先生ご指導による電気ガス不要なかまど作成）
- ④7/16.17 全国女性建築士連絡協議会（東京）参加
- ⑤11/20 勉強見学会&女性会員交流会開催（瀬戸内醸造所）これから…【女性委員会！ドローンを習うの巻】を計画中です。

青年委員会……………委員長 三谷 隆之

- 4/16 開催地：福山－福山城見学
 - 6/4 開催地：東広島－広島大学ミライクリエ見学、田川教授とタウンミーティング
 - 6/12～13 中四国ブロック大会in高知へ21名で参加
 - 8/6 開催地：広島－建築士会で作製した人生ゲームを実践
 - 8/27 建築学生ワークショップ宮島2022へアドバイザーとして9名参加
 - 9/4 東広島支部事業のドリームアカデミーへ10名参加
 - 9/24～25 若手建築士交流会in香川へ12名参加
- 今後は、会員増強と会員親睦に力を入れたいと考えており、コロナで中止になっていた『三原の瀬戸内酒造見学と大久野島を巡る会員親睦ツアー』や親睦ゴルフなどを企画する予定です。

中四国ブロック大会実行委員会……………委員長 長島 周平

昨年は高知県で中四国ブロック大会が開催され、コロナによる大会中止後の初めての集まりとなり、盛大に執り行われ無事楽しく閉会となりました。コロナ禍の状況がつかめない中、我々は理事会で令和6年6月に中四国ブロック大会が広島で開催される予定ということを知り、昨年の6月、急いで現・元の青年・女性委員長との話し合いを行うこととなりました。

広島大会に向けて集まったメンバーは、実行委員長をさせていただく私と副委員長の長岡さん、また青年委員長の三谷さん、女性委員長の倉田さん、そして前回尾道大会での委員長だった森川さんをご意見番として、月1回の会議を開催することに。実行委員会の執行部として、まずはどのような大会にするか骨子となる要旨を決めていこうということで話がスタートしました。

4カ月ぐらいでしょうか、委員会での様々なご意見をいただきながら今回の大会要旨を作り上げていきました。考えた要旨のタイトルは『未来少年～好奇心で切り開こう、新しい次代へ～』。少年のような好奇心で、未来のテクノロジーと歴史文化からの学びという、相反するような事柄を新たな視点で見えていけないかというものです。要旨の文章内容は大会内容など詰めていきながら、さらなるブラッシュアップができればと思っています。

また要旨に合わせて、開催場所も検討を行っていきました。広島県内で様々な候補がある中、中四国地方でも人口が最多となる広島市に注目し、地方都市の未来的な可能性を感じてもらえないかと思い、選定いたしました。

現在は青年女性委員会にてブロック大会への参画意向などアンケートを取らせてもらったものを基に総務、本大会、地域実践、分科会、懇親会、エクスカージョンの6つの担当グループに分けて、リーダーをそれぞれお願いさせてもらいました。内容につきましても企画や運営などリーダーにご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。

青年委員会・女性委員会は合わせて40名程度が現在主に活動している方の人数です。高知大会では64名のスタッフがいらっしやったということで、広島県も何とか増強を目指していききたいところです。これからは、各会場の選定や予算などまだまだ企画段階のものもあり、まずは6月の青年女性合同理事会へ提出できる内容にしていこうと思います。

尾道での中四国ブロック大会から9年。分からないこともた



建築学生ワークショップ宮島2022



人生ゲーム

くさんあると思いますので、ぜひご指導・ご教授などお願いできればと思います。また、青年委員会・女性委員会共に会員募集中です。いつでもウェルカムですので、これを機会に参加してみたいなと思った方はぜひお気軽に事務局までお問合せいただければと思います。楽しい大会にしていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

CPD 認定プログラム(1～2月の広島県内実施分)

2022年12月13日現在

日 時	プログラム名	単 位	主 催	連絡先
1/24	第一種電気工事士定期講習 (広島) 1/24	6	日建学院	03-3988-6201
1/24	第一種電気工事士定期講習 (福山) 1/24	6	日建学院	03-3988-6201
1/24	建築改修工事監理指針 (令和4年版) 講習会	5	建築保全センター	03-3553-0070
1/24	電気設備工事監理指針 令和4年版	5	公共建築協会	03-3523-0382
1/25	「施工の心得」講習会	2	広島県建築士会	082-244-6830
1/25	機械設備工事監理指針 令和4年版	5	公共建築協会	03-3523-0382
1/25	「既存住宅状況調査技術者」講習会 (更新講習)	2	広島県建築士会	082-244-6830
1/26	建築物石綿含有建材調査者講習	6	E R I アカデミー	03-5775-7848
1/26	建築工事監理指針 令和4年版	5	公共建築協会	03-3523-0382
1/26	事例でわかる！工事成績アップの最新技術とその活用2022	6	インターウェーブ	099-812-0677
1/27	建築物石綿含有建材調査者講習	5	E R I アカデミー	03-5775-7848
2/9	信頼される建設現場を目指す～法令順守と品質管理～	6	インターウェーブ	099-812-0677
2/10	既存住宅状況調査技術者講習 (新規)	5	広島県建築士会	082-244-6830
2/14	第一種電気工事士定期講習 (福山) 2/14	6	日建学院	03-3988-6201
2/15	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/17	「施工の心得」講習会	2	広島県建築士会	082-244-6830
2/18	住宅講演会「見たことのない普通のたてものを求めてー建築をつくる喜びー」	2	広島県建築士会	082-244-6830
2/22	一級/二級/木造建築士定期講習 (6D-06)	6	広島県建築士会	082-244-6830
2/22	労働災害ゼロを目指す！ ヒューマンエラー対策とリスクアセスメント2022	6	インターウェーブ	099-812-0677
2/28	第一種電気工事士定期講習 (福山) 2/28	6	日建学院	03-3988-6201

ぷろじえくと

PROJECT NEWS

ニュース

住宅講演会

「見たこともない普通のたてものを求めて」
ー建築をつくる喜びー：宇野友明

講 師：宇野友明 氏（宇野友明建築事務所）
日 時：2023年2月18日〔土〕 14：00～16：30（受付13：30～）
会 場：広島工業大学広島校舎501号室
〒728-0811 広島市中区中島町5-7 TEL：082-249-1251
定 員：100名（定員になり次第締め切らせていただきます。）
参加費：会員・学生 無料、非会員1,000円
C P D：2単位
申込み：広島県建築士会のホームページ
<http://www.k-hiroshima.or.jp/>



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、実現してきたデザインや技術は、現代に伝統として受け継がれています。竹中工務店は、その伝統を尊びながら、常に新しい価値や試みを取り入れ、革新的なデザインや技術を創り出すことを目指しています。人と自然が共に豊かななるにはどうしたらいいのかが、未来の環境をつくる使命を持つて新しい建築を、世に送りだしていきたい。そして、10年後、20年後、100年後、その建物が新しい「伝統」になり、未来の建築家たちの礎になることを願っています。「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」竹中工務店は、この経営理念のもと、建築の可能性を追い求めています。

竹中大工道具屋（兵庫県神戸市）
設計監工：竹中工務店

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

株式会社 竹中工務店 本社：〒641-0053 大阪府中央区東町4-1-13 Tel.06-6252-1201 / 東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 Tel.03-6810-5000



「第18回ひろしま街づくりデザイン賞」表彰式を開催

広島市都市整備局都市計画課都市デザイン係

広島市では、街並みや自然への配慮がなされ、良好な景観の形成に貢献している建築物や看板、活動などを表彰し、魅力ある街づくりに対する市民意識の高揚を図ることを目的として、平成6年度から「ひろしま街づくりデザイン賞」の募集・表彰を実施しており、今回で18回目となります。

この度、「第18回ひろしま街づくりデザイン賞」の表彰式及びこれまでの受賞作品のパネル展を紙屋町地下街シャレオ中央広場で11月25日（金）に開催しました。



大賞を受賞した「広島アンデルセン」を代表して、松本真一様（株式会社アンデルセン 代表取締役 社長執行役員）から「1967年に創業者が、元銀行で被爆建物である建物を、ベーカリーに活用するというで開業し、今年で55周年を迎えることができました。これからも食べ物だけではなく、広島の皆様に愛される、広島の皆様に誇りをもってもらえるような、お店になるようにしていきたいと思います。」とご挨拶をいただきました。



第18回では、146件の応募の中から大賞1件〔広島アンデルセン〕、部門賞6件〔個人住宅部門：江波の家／PeacoQ、アート部門：夕風の街 桜の国（アストラムライン本通駅ステンドグラス）、広告部門：広島電鉄ラッピング電車（段ボール電車）、街並み部門：風花山本／minagarten（ミナガルテン）コミュニティエリア〕、奨励賞5件〔ひろぎんホールディングス本社ビル／コ・イルミネーション／泉屋 幟町店／真亀一丁目花の会／紙屋町まちかどピアノ〕を表彰し、松井一實広島市長より受賞者へ表彰状等を贈呈しました。



今回のひろしま街づくりデザイン賞の募集は、令和5年秋期から冬期頃までを予定しています。広島市のホームページや広報紙等でお知らせしますので、ふるってご応募ください。

これまでの受賞作品は広島市ホームページでも公開しています。



QRコードまたは
広島市ホームページから検索

ひろしま街づくりデザイン賞

新築住宅

環境 ECO 対策

店舗デザイン

マンション修繕工事

賃貸マンションプロデュース

内外装リフォーム

電気事業

公共他工事

株式会社

TOTAL・STABILITY

HAMAMOTO

新築工事から住宅リフォーム

マンション改修まで

お任せ下さい！

〒731-0135
広島市安佐南区長束4丁目16-2
TEL:082-238-1511 FAX:082-238-1513

ティーエス・ハマモト

福山城400年博 FUKUYAMACASTLE EXPO 2022 見学・研修会「福山城リニューアルセミナー」呉地区支部・福山支部合同開催

広島県建築士会呉地区支部 篠部 裕
(呉工業高等専門学校)

2022年11月27日(日)、広島県建築士会呉地区支部の県内研修会が3年ぶりに開催された。今回の見学先は、千光寺展望台PEAK、新勝寺禅と庭のミュージアム、福山城博物館(福山市)の3カ所であった。

①千光寺頂上展望台PEAK(尾道市)

尾道市立美術館(設計:安藤忠雄)を横目に眺めながら、目的の頂上展望台へと徒歩で向かった。展望台PEAK(設計:AS)の特徴は、長さ63mの直線状の展望台と緩やかに昇る円形階段にある。これらが細い鋼製の柱により地上から持ち上げられる軽やかな造形となっている。長く伸びた展望台からは、眼下に尾道の市街地や尾道大橋を眺望できた。

②新勝寺禅と庭のミュージアム(福山市)

新勝寺は臨済宗建仁寺派の寺院で、敷地は広大である。寺務所(設計:藤森輝信)で受付を済ませた後、しばらくの間、紅葉が美しい敷地内の庭園を散策。その後今回の主たる見学対象である新勝寺禅と庭のミュージアム 洗庭(設計:SANDWICH)へと向かった。25分間、暗闇の中で

光と音のインスタレーションを鑑賞した。

③福山城博物館(福山市)

福山城築城400周年を記念して実施された令和の大改修の主な内容は、天守の耐震補強と内部の博物館のリニューアルにあるが、市民から寄贈された鉄板を基に復元された天守北側鉄板張り(全国唯一)が、城郭建築としての大きな売りとなっている。

研修会では、まず月見櫓において今回の耐震改修工事の概要を福山市の工事担当者に説明頂いた。その後、京都伏見城から福山へ移築された伏見櫓(国重要文化財)の内部を見学した。通常は一般公開されていない伏見櫓の見学は貴重な体験であった。最後に福山城博物館の内部を見学して回ったが、1階の企画展示室から5階(最上階)の天空の間まで見ごたえのある充実した展示内容であった。

午後の福山城博物館の研修会は、福山支部の荒川支部長の提案により呉地区支部と合同で行われ、福山支部会員の小森様(福山市役所)には、今回の合同研修会の企画・運営に大変ご尽力頂いた。また、福山市営繕課及び文化振興課の方々には、休日にも関わらず研修会の講師を務めて頂いた。ここに感謝の意を示す次第である。



福山支部 社会活動委員会まちづくり担当 小森 満生

呉地区支部の皆さんと一緒に、見学・研修会を開催し、本支部からは18名が参加しました。

福山城は、築城400年を迎え、本年1月にスタートした「福山城400年博－FUKUYAMA CASTLE EXPO 2022」に、本支部も市民参画事業として参加しています。1月8日の開会式の後にはスタートイベントとして、日本城郭協会理事長・福山城築城400年応援サポーターである静岡大学の小和田哲男名誉教授をお迎えし、「日本が誇るお城の魅力」と題して講演会を開催しました。また、今年度は、12月からフィナーレイベントとして「チームラボ 福山城 光の祭り」が始まっており、ライトアップに係る講演会を予定しています。

今回の見学・研修会は、①「福山城博物館リニューアル工事(耐震改修、天守北側鉄板張り等)」、②「国の史跡に

指定された城址内の建造物や福山の歴史」、③「福山城博物館(天守)の見学」の3部で構成し、①では、工事を担当した福山市建設局建築部営繕課の職員から、耐震化、全国唯一の天守北側鉄板張りの復元、及び博物館の全面リニューアルを行った「令和の大普請」について、説明を受けました。昭和39年の福山城復元にあたっては、焼失前の写真資料から城郭各部の寸法を割出すため、天守の垂木や瓦の数を虫眼鏡で何度も何度も数え、推測寸法と重ね合わせた根気の要る作業をされた担当者の苦労話を思い出しなが、築城から復元・改修までの歴史を振り返ることができました。

今回は、呉地区支部の皆さまとの交流も図れた有意義な見学会でした。2025年度(令和7年度)には、「世界バラ会議福山大会」が開催されます。皆さま、「100万本のばらの福山」へ是非お越しください。

安全で安心な住まいづくりを 私たちがサポートします!



(公社)広島県建築士会と(一社)広島県建築士事務所協会会員をはじめ、
銀行、電力会社、弁護士、会計事務所など、
多くの方々のご賛同をいただき設立した会社です。

株式会社 広島建築住宅センター

業務内容

- 建築確認・検査
- 住宅性能評価
- フラット35
- 長期優良住宅
- 低炭素建築物
- 住宅かし担保責任保険
- 省エネ関連業務
- すまい給付金サポート
- リフォーム評価ナビ
- 地域型住宅グリーン化事業
- ベターリビングリフォーム審査業務

(株)広島建築住宅センター 本社

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
E-mail info@hkjc.co.jp

福山営業所

〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974
E-mail fukuyama@hkjc.co.jp

ホームページ <http://www.hkjc.co.jp>



(株)ウッドワン

代表取締役社長 中本 祐昌

〒738-8502 廿日市市木材港南1-1
☎0829-32-3333
<https://www.woodone.co.jp/>

岸工業(株)

代表取締役会長 岸 昭文
代表取締役社長 岸 哲太郎

〒734-0023 広島市南区東雲本町2-15-7
☎082-282-1461
<https://www.kishikogyo.co.jp>

クマリフト(株)

代表取締役 熊谷 知哉

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-12-20
☎06-6445-6700
<https://www.kumalift.co.jp>

(株) KI works

代表取締役 井手口 耕三

〒733-0815 広島市西区己斐上2-69-16
☎082-881-1321
<http://www.kiworks.info>

(株)住研社

代表取締役 三浦 誠

〒731-5136 広島市佐伯区栄々園2-1-30
☎082-943-4550
www.hiroshimahatsukaichi.com/

イーイング・コーポレーション(株)

代表取締役 平岡 栄作

〒733-0037 広島市西区西観音町4-1
☎082-297-2022
<https://eing.co.jp>

江田島市都市整備課

市 長 明岳 周作

〒737-2297 江田島市大柿町大原505
☎0823-43-1647
<http://www.city.etajima.hiroshima.jp>

(有)キヨウヤマ

代表取締役 三田 敏則

〒733-0012 広島市西区中広町2-14-21
☎082-532-3067
<http://kiyouyama.jp>

グラフィソフトジャパン(株)

代表取締役社長 トロム ペーテル

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-5-25
新大阪ダイビル6F
☎06-6838-3080
<https://graphisoft.com/jp>

坂町役場
建設部産業建設課

町 長 吉田 隆行

〒731-4393 安芸郡坂町平成ヶ浜1-1-1
☎082-820-1512
<http://www.town.saka.lg.jp>

(株)杉田三郎建築設計事務所

代表取締役 杉田 輝征

〒730-0012 広島市中区上八丁堀7-5
☎082-228-2345
<http://www.saburoshigita.com/>

井本建設(株)

代表取締役 井本 健一

〒737-0814 呉市山手1-1-33
☎0823-23-2506
<https://imoto-build.jp/>

大之木建設(株)

代表取締役社長 大之木 洋之介

〒737-8502 呉市中央3-12-4
☎0823-26-1523
<http://www.onoki.co.jp>

(株)共立

代表取締役 沖元 周二

〒730-0051 広島市中区大手町4-6-16
☎082-246-4151
<https://www.kyoriz.co.jp>

ケイミュー(株)
広島営業所

所 長 辻本 恵一

〒730-0037 広島市中区中町7-1
☎082-245-0354
<http://www.kmew.co.jp/>

(株)ジェイ・イー・サポート

代表取締役 佐東 政明

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
☎082-836-3300
<https://www.jesupport.jp>

日建学院広島校
(株)セイブコーポレーション

代表取締役 仲西 毅

〒730-0016 広島市中区鞆町14-11
ウイング八丁堀ビル8F
☎082-223-2751
<http://www.ksknet.co.jp/>

(株)総合資格学院
広島支店

学院長 岸 隆司

〒730-0037 広島市中区中町7-35
和光中町ビル4F
☎082-542-3811
<http://www.shikaku.co.jp>

(株)ティーエス・ハマト

代表取締役 濱本 利寿

〒731-0135 広島市安佐南区長束4-16-2
☎082-238-1511
<http://www.ts-h.co.jp>

(株)長崎塗装店

代表取締役 長崎 邦彦

〒733-0036 広島市西区観音新町1-7-24
☎082-233-5600
<http://www.nagasakiuso.co.jp>

日本住宅パネル工業(協)
西日本支所広島営業所

営業所長 木本 直樹

〒733-0841 広島市西区井口明神1-14-43
☎082-270-3700
<http://www.panekyo.or.jp>

(株)広島建築住宅センター

代表取締役社長 宮地 正人

〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10-3F
☎082-228-2220
<http://www.hkjc.co.jp>

(株)ミヤジ

代表取締役社長 宮地 宏治

〒722-0051 尾道市東尾道9-10
☎0848-20-2111
<http://www.e-miyaji.com>

大成建設(株)
中国支店

執行役員支店長 吉野 雄一郎

〒730-0041 広島市中区小町2-37
☎082-242-5335
<http://www.taisei.co.jp>

TOTO (株)
中国支社

支社長 田中 徹

〒734-0014 広島市南区宇品西4-1-36
☎0570-03-7771
<https://jp.toto.com/>

(株)長沼電業社

代表取締役 長沼 毅

〒730-0036 広島市中区袋町6-14
☎082-248-2501
<http://www.naganuma.co.jp>

ハウスプラス中国住宅保証(株)

代表取締役社長 竹原 和司

〒730-0042 広島市中区国泰寺町11-3-32
☎082-545-5607
<https://www.jutakuhosho.com>

(株)マリモハウス

取締役社長 向井 芳典

〒733-0821 広島市西区庚午北2-16-4
☎082-500-8391
<https://www.marimohouse.co.jp/>

(有)元廣建築設計事務所

代表取締役 元廣 匡伸

〒722-0037 尾道市西御所町6-15
☎0848-23-5300
<http://motohiro-arc.com>

中国電力(株)
管財部門 (建築)

部 長 阿比留 哲生

〒730-8701 広島市中区小町4-33
☎082-544-2519
<http://www.energia.co.jp>

ナイス(株)

中国ブロック 広島営業所 所長 大竹 泰弘

〒738-0034 廿日市市宮内六本松917-13-2F
☎0829-39-3333
<https://www.nice.co.jp/>

日本 ERI (株)
広島支店

支店長 石木 美都夫

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-4-3F
☎082-211-5500
<http://www.j-eri.co.jp>

広島ガス(株)
家庭用エネルギー営業部

家庭用エネルギー営業部長 小迫 寿雄

〒734-8555 広島市南区皆実町2-7-1
☎082-252-3020
<http://www.hiroshima-gas.co.jp>

丸大食品(株)
広島営業所

所 長 多田 隆史

〒733-0035 広島市西区南観音6-11-32
☎082-293-2111
<http://www.marudai.jp/corporate/>



指定確認検査機関 (中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関 (中国地方整備局長登録第5号) 登録省エネ判定機関 (中国地方整備局長登録第3号)
BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

**ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。**

中国エリアをすっぽりカバーしています

中国エリアをすっぽりカバーしています
Energy 中国電力グループ
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<https://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル
TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608
広島北支店：広島市安佐南区西原 6-9-40-7 TEL：082-832-3310 FAX：082-875-4330

**「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します**

- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- すまい給付金関連業務

- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務 (フラット35)
- 調査診断業務 (違法性調査、定期報告等)

- 登録住宅性能評価機関
- 長期使用構造等の確認業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS) 評価業務

12条点検は弊社におまかせください

株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <https://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL：082-836-3300 FAX：082-228-8201
支店：東京 事務所：福岡
e-mail：mail@jesupport.jp

見学会 & 女性会員交流会の報告です

女性委員会委員長 倉田 まゆみ

- 女性委員会イベント Vol.2
- 日 時：11月20日（日）10：30～15：00
- 場 所：瀬戸内醸造所 三原市須波西1-5-26
（設計監理：SUGAWARADAISUKE建築事務所 菅原 大輔 氏）

女性会員の見学会 & 交流会を元造船所跡地に建つワイナリー「瀬戸内醸造所」で海を眺めながら開催しました。ランチ交流会では、お互い日々の仕事や活動、訪れた建築物の報告感想等で大変盛り上がりしました。見学勉強会では設計資料をもとに35mの大屋根や仕上材を肌で感じ、醸造棟ツアーは貸し切りで説明を受け、私たちは醸造担当者へ皆質問攻めの嵐です（笑）。日々の忙しさから離れ、目の前の穏やかな瀬戸内海で瀬戸内醸造所のコンセプトで

ある【旅するワイナリー】を満喫しました。皆さま、今度ぜひ一緒にしましょう。



第9回体験学習会 一閑張り実践編!! ～かごバッグに挑戦～の報告

福山支部 長岡 みゆき

9年前。第1回体験学習会の始まりは、NPO法人ぬまくま民家を大切にする会が、閉鎖される柿渋工場の機械を譲り受け新たに備後柿渋を保存するために立ち上げられた柿渋工場のオープンの工場見学からでした。ご縁あって早速一閑張りの体験学習会を開催することとなりました。シリーズ化して今年で9回目。今回は憧れのかごバッグに挑戦!!ということで大作となるため2回に分けての学習会は18名の参加者による熱気あふれる挑戦となりました。講師、スタッフを入れると総勢23名。参加者の方の中には9回とも参加されているつわもの? もいらっします。会場は講師の牧平真由美先生が蔵守をされている蔵ギャラリー。ギャラリーとなっている蔵は約250年前の建物で、当時松永で製塩業を営まれていた屋敷の蔵。（※

このギャラリーは何度もお世話になっているので説明済みかも）1回目は和紙を適当な大きさにちぎりかごバッグに貼り付けていく作業はなかなか根気のいる作業。和紙はどこにも売っていない古紙。その和紙を貼り付けるのりではでんぷんのり。でんぷんのりも最近は手に入りにくく先生のこだわりの手作り。黙々と和気あいあいと作業をすすめて全部貼り終えてる人、まだまだの人それぞれですがあっという間に1回目終了となりました。貼り終えていない人は次回までの宿題です。

2回目は作業にはいる前に柿渋工場のビデオを見ながら柿渋のできる工程の説明を受け改めて柿渋を保存することの難しさ大切さを考えさせられました。

今回は和紙を貼った上に書、絵などを思い思いにレイアウトしながら貼り付けていくという工程です。最後に作品に対するデザインの思いを発表し、参加された方の数だけ世界に一つだけの作品が出来上がりました。

のりが乾いたら各自で柿渋を塗って完成です。日にちがたつごとに色の変化し成長していくかご。完成した作品を持ってまた会えるのが楽しみです。



サッカースタジアム等整備事業見学会に参加して

広島支部 技術研修委員会 永井 修

令和4年11月23日、広島市中区で行われた「サッカースタジアム等整備事業見学会」に参加しました。令和元年11月以来、約3年ぶりに開催された現場見学会には、呉工業高等専門学校の学生を含め26名が集まりました。

前日からの雨で開催が心配されましたが、13時すぎの見学開始には陽もさして、まずまずの見学日和となりました。

まず初めに、入場口近くの管理小屋で顔認証による入退場管理などICTを使った現場管理システムについての説明を受けました。

その後、現場事務所内の会議室で、広島市スタジアム建設部の中村様から全体の事業概要、共同事業体の代表である大成建設株の小山様から全体工程や進捗状況、今後の作業内容についてそれぞれ説明を受けました。

次に現場内に移動し、構造躯体で採用されているプレキャストコンクリート部材等について説明を受けました。現場には500tクレーンが設置されており、参加者は現場のスケール感を実感していました。

再度会議室に戻り、最後にVR機器を使った仮想現実体験を行いました。参加者からは、完成イメージを立体的に



体験できた、臨場感が感じられ驚いたなどの声が上がっていました。その他にも、完成模型を見ながら施設の説明を受けたり、観客席のモックアップに着席してみたりとさまざまな体験ができ、技術研修委員会としても非常に有意義な見学会となりました。

広島の新たなにぎわい施設として「開かれた回遊型スタジアムパーク」をコンセプトに持つサッカースタジアムの完成がとても待ち遠しいと、改めて実感した見学会でした。

